



Ruth Asawa,
A Line Can Go Anywhere

20代のルース・アサワ (Photo © Imogen Cunningham Trust, Artwork © Ruth Asawa Lanier, Inc. / Artists Rights Society (ARS), New York)



こんな日曜日が待ち遠しい。
NIKKEI
The STYLE

アサワの没後初となる大規模回顧展がニューヨーク近代美術館 (MoMA) で開催され、創作の全貌が紹介されている (ニューヨーク)

アート教育の変革者 ルース・アサワが遺したもの



友人や知人の顔をかたどったマスクはアサワと地域のつながりの強さを象徴する (カリフォルニア州パロアルトのスタンフォード大学)

美術家として表現の極みに挑みつつ、アートの教育者として子供たちと作品を生み出す——。そんな二面性を業しんだのが日系2世の米国人アーティスト、ルース・アサワ（1926～2013年）だ。現在ニューヨークで大規模回顧展が開かれている。米国のアートシーンに名を刻み、アート教育を全米に広げた彼女の遺したものを探るため、足跡をたどった。

日本の世界遺産は弾切れか

特定の地域エゴを捨てて

普遍的価値を世界に向けて発信を

江戸時代の面影を今に残す滋賀県の彦根城。国連教育科学文化機関「ユネスコ」の世界文化遺産登録に向けた動きが足踏みを続けている。

システムの象徴という主張だったしかし、彦根城だけで江戸期の大名統治システムを示すことができるのか、多くの人が疑問を抱くだろう。

文を讀むと、下は、自由、平等、幸福、
の三つを、世界文化遺産の精神の核
と述べたのを、見ると、近頃、伊根市
は、大分大分と公共の政治を
する江戸時代の大名政治システムを象
徴する存在だと認識して、そのもの、
ユネスコ機関を通じて、あの歴史、
は、我が国に残るべき遺産となるに
は、如何に残るべきと断断した。豈には
否に降しなれば。

政府が世襲連任の候補にある暫定リストに彦根城を記載したのは1992年それから30年余経ても政府が推薦できずにいるのはなぜか答えは150年前に離れた路線に記されたこと、同路線に記されなかったことが原因である。

彦根城が失われたのは唯一の世界遺産域の兵庫地区であり、この世界遺産域の地位を失いかねない共同推薦案に後ろ向きだった。彦根城も当初は長野県松本市や愛知県大山市と国産城郭を共同推薦するもの研究会を設けてきたが、この手の中絶された。

姫路城は寛政9年、近江城郭として日本初の世界遺産に登録された。以後、彦根城は姫路城に倣う形でその名を問われ続けた。長年、彦根市役所が世界遺産登録に注力した谷口徹さんは、二つの国

からは同様の遺産を登しなさいという壁に阻まれた上振り返る。

姫路城と差別化するために滋賀県と彦根市が打ち出したのが、大名統治シ

彦根市の田島茂成市長に、シリアルノミネーションに対するスタンスを直接尋ねてみた。彦根城の世界遺産登録に向けて単独推薦（プッシュ）だけでなく

A vertical photograph of a traditional Japanese building with a thatched roof, nestled in a lush green landscape. The building is partially obscured by dense foliage and is situated near a body of water, which reflects the surrounding greenery. The scene is peaceful and scenic, typical of a Japanese garden or park.

A photograph of a traditional Japanese building with a tiled roof, surrounded by lush greenery and a body of water in the foreground. The building is partially obscured by trees and a fence. In the background, a hill with a castle or fortress is visible under a cloudy sky.

彦根城は先に世界遺産に登録された姫路城との違いを常に問われ続けてきた(滋賀県彦根市)



く、共同推薦(プランB)があるかとの問いに対しては「プランBは全く持たあわせていない」と答え、あくまでも単独推薦をめざす立場を繰り返した。

産物には大いに同情する多岐にわたる。1992年、彦根城を「一方的に歴史リスト」に加えたのは文化庁だったからだ。当時を知る関係者によると、文化庁内の建築担当が姫路城、史跡担当が彦根城をそれぞれ推薦したという。まさに縦割りで行政の産物だった。文化庁の議会、世界文化遺産特別委員会、参事院の世田谷幸夫・国学院大学教授を務めた西村幸夫・国学院大学教授。これまでの経緯から「国はハンコを外

17世紀に井伊家が築いた城は天守が
国宝に指定され、周囲に重要文化財の
天守櫓や名勝・玄宮園を配置する。城跡
は特別史跡に指定され、日本を代表す

焦点はやはり他の城郭と客観的に比較し、優れた価値を明確に説明できるかだ。当面は滋賀県と彦根市の努力次第だが、単独推進が難しいと判断すべ

ば、共同推進へと大胆にカジを切るべきだ。大山市は「国宝五城での登録をめざしている」と回答した。

地域には観光客の増加といった経済的効果が期待できるのは事実とはいえ、それ自体が本来の目的ではない。世界遺産とは人類や地球にとって大きな価値を持つ建造物や遺跡、自然を人類共通

現在、日本で世界遺産として登録されているのは計25件。しかし、今後の候補を示す暫定リストに載っているものの

は、貞観城。20026年の世界遺産委員
会で登録の可否が検討される「飛鳥・華
原の宮都」のほか「平泉拡張」「古都
鎌倉の寺院・寺社の計4件」だけだ。
鎌倉については地元自治体が世界遺産

界遺産に登録されている平泉の拡張登録のハードルは高い。彦根城に続く候補を追加するリスト見直し作業が遅ければ、候補がなくなる「弾切れ」の事態が現実味を帯びる。仮に英蘭を所見

山口県岩国市の錦帯橋、大名庭園、旧藩校、富山県の黒部ダム、四国遍路、熊本県阿蘇……。潜在的な候補はそれな

りにあるが、それらをグローバルな文脈に位置づけ、特定の地域エゴを捨てて普遍的価値を世界に発信できるか、日本に必要なものは総合的な文化行政上、その思いを伝える外交パワーだ。

瀨能繁
國田真操

催事祭事



恋と写真作品のハーモニー 帝国ホテル東京(東京・千代田)のシャンパンバー「The Rendez-Vous AWAJ」で2026年1月1日から、イタリアのスパークリングワイン「フラチカコルタ」の代表的な生産者「カデル・ボス」によるビンテージコレクションの提供を始める。2月28日までの期間限定。

「ヴィンテージ コレクション ドーザ・ジュ・ゼロ」はシャルドネ主体にピノ・ネロ、ピノ・ビアンコをブレンド、瓶熟成に平均6か月かけた。砂糖などを加えない

のでブドウ本来の味わいを楽しめるとい
う。グラス1杯4000円。

期間中、カ・デル・ポスコのワイナリー
で撮影した写真集「11 fotografi 1 vin
o」を展示する。11人の巨匠フォトグラファ
ーが、それぞれの視点で土地や芸術、ワイ
ンが融合した瞬間を表現したという。

フードライター
TEL 0120-28-6683

洗 練 逸 品



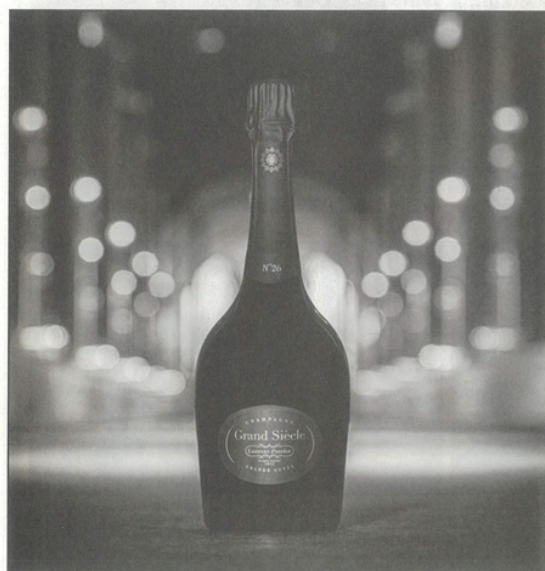
アート施設「江之浦測候所」の写真集。公益財団法人小田原文化財団はこのほど、「杉本博司 江之浦測候所」(写真、C. Odawara Art Foundation)を刊行した。江之浦測候所(神奈川県小田原市)は現代アメリカの杉本博司さん構想により20年以上かかったという文化拠点。相模湾を見渡す丘陵地に、全長100名のギャラリー、野外の石舞台、再現された16世紀の茶室などが点在する。美術品や能楽の鑑賞など、壮大な施設の中で古今の日本文化を体験できる。

写真集では2017年の開館から現在まで実施されてきた多彩なプロジェクトを記録した。鮮々と移ろう光と影を捉えた写真の数々は、美術家志す総合芸術の姿を鮮やかに映し出している。

日本語のほか、英語版も用意した。日本語版は21×27.5センチ。フルカラー・224ページで8800円。

公益財団法人小田原文化財団
TEL 0465・42・9170

公益財団法人小田原文化財団
TEL 0465・42・9170



CHAMPAGNE
Grand Siècle
Laurent-Perrier
MAISON FONDÉE
EN 1789

“パーフェクトヴィンテージ”の飽くなき追求
ブレンドの芸術が生み出した至高のシャンパン
ローラン・ペリエ グラン シェクル No.26

フランスを代表するシャンパン、ローラン・ペリエのグラン シェクル。
それはシャンパンの真髄、そしてフランス文化の優雅さ。
まさに、求め続けた究極のブレスターゼシャンパンの世界がここに 있습니다。



ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒はなによりも適量です。

問合わせ先：サントリーお客様センター ☎0120-139-380

催 事 祭 事



泡と写真作品のハーモニー 帝国ホテル
東京(東京・千代田)のシャンパンバー「The Rendez-Vous AWA」で2026年1月1日から、イタリアのスパークリングワイン「フランチャコルタ」の代表的な生産者カ・デル・ボスコによるビンテージコレクションの提供を始める。2月28日までの期間限定。

「ヴィンテージ コレクション ドサー
ジュ・ゼロ」はシャルドネ主体にピノ・ネ
ロ、ピノ・ビアンコをブレンド。瓶熟成に
平均48カ月かけた。砂糖などを加えない

のでブドウ本来の味わいが楽しめるとい
う。グラス1杯4000円。

期間中、カ・デル・ボスコのワイナリー
で撮影した写真集「11 fotografi 1 vin
o」を展示する。11人の巨匠フォトグラファ
ーが、それぞれの視点で土地や芸術、ワイ
ンが融合した瞬間を表現したという。

フードライナー
TEL 0120・28・6683